

# 町政を問う!

## 一般質問 12議員が質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開催される定例会で、町政全般に対し質問をすることができます。これを一般質問といいます。

本文は質問した議員本人の責任で要約し、執筆した原稿を掲載しています。

### 日坂和久 議員

1. 圏域行政の構想について
2. 住民主体の移動・送迎・外出支援について
3. 通学路の安全対策について
4. 納涼夏まつりについて

### 松浪健一郎 議員

1. 300円から、500円に値上げされた、単身高齢者向けの配食サービスについて
2. 昨今の異常気象による台風などで、倒木の恐れのある、ニュータウン地内の危険な大木について

### 石井 徹 議員

1. 健康づくり事業PR動画について
2. 懸念される財政不安の中、町税増収に向けた取り組みの中から企業誘致について
3. 投票率の低下を防ぐ有効な方法について

### 野田小百合 議員

1. 住民の暮らしを守る『足』について
2. 行政配布について
3. だれもが自分らしく生きていくことができる社会を ～多様な性を認める～

### 関根清隆 議員

1. 町財政の現状と将来に問題はないか
2. 北部地域活性化事業の見直し、計画の縮小あるいは中止を提案する
3. 相談窓口一本化と愛称付けによる周知の提案

### 大賀広史 議員

1. 教育行政（通学路の安全と自転車）
2. 熱中症予防（暑いまち、対策も万全に）
3. はーとんスクエア（鳩山町福祉健康・多世代交流複合施設）
4. 北部地域活性化事業（建築工事と道路整備）

### 森 利夫 議員

1. 北部地域活性化事業について
2. コミュニティ・マルシェについて

### 小鷹房義 議員

1. おしゃもじ山のつつじの植栽と管理について
2. ニュータウン内の歩行者用道路の植栽について
3. 役場内の救急体制について
4. 小・中学校の暑さ対策について

### 小川唯一 議員

1. 農業行政
2. ゴミ問題

### 石井計次 議員

1. 町の財政について
2. 公有財産の利活用について
3. 企業誘致の推進について
4. 安全対策について

### 中山明美 議員

1. 交通手段について
2. 暑さ対策について
3. 食品ロスについて
4. 鳩山町議会議員選挙について

### 根岸富一郎 議員

1. 難聴について
2. 地域の活力創造プランの概要と当町における農業政策の具体化について



日坂 和久 議員



通学路安全対策

啓発で車の速度低減は難しいのでは

速度の出せない道路環境を検討

**問** 通学路安全対策

各学校の通学路点検による危険箇所状況は、

**答** 道路幅が狭く、カーブで見通しが悪いが、スピードを出している車が多い等だ。

**問** 交通安全指導に従い通学していても、スピード超過の車に突っ込まれる可能性があるが。

**答** 運転者へは、年4回街頭にて安全運転啓発の取り組みをしている。

**問** それでも危険箇所でスピード超過が目につくようだ。危険箇所付近にスピードクッションを設置してはどうか。

**答** スピードクッションは、通常のハンブに比べ利点があるので検討する買物支援

**問** 「高齢になっても自分で見たり手にとって買物をしたい。楽しみになるし、出かける張り合いにもなる。」これは地域で伺った実際の声だ。介護予防等に繋がる可能性もある。町内外への試験的な買物支援運行を提案するが、町からの支援は可能か。

**答** 介護予防の目的が含まれるのであれば、応募方法、応募受付等は地域包括ケア担当や生活支援担当を配置しているので、相談をして欲しい。

**納涼夏まつり**

**問** 町主催（実行委員会）であるので、主催者責任として、開催準備につき賠償事故発生の際に、被害者への初期対応担当職員を設置すべきだが、いかがか。

**答** 過去に賠償事故があり、ボランティアが苦労して対応したことや、その後、初期対応担当職員を設置した事を知らなかった。引継がれていない。



危険箇所の速度低減。スピードクッションの設置を

松浪健一郎 議員



高齢者配食サービス事業

500円の値上げの根拠は

基金の財源が厳しい

**問** 300円から500円に値上げされた、単身高齢者向けの配食サービスについて、導入された経緯とその目的は。

**答** 町社会福祉協議会で、65歳以上の単身世帯、65歳以上のみで構成する世帯で、居住または隣接する母屋に、三親等内の親族が居住していない方、身体障害者手帳、精神障害者保健福祉手帳1級、または2級の交付を受けている方で、調理が困難な方を対象にした事業だ。

**問** 配食サービスの行う事により、食生活の改善と健康保持、安否確認を行うことを目的としている。

**問** 値上げの根拠を伺う。

**答** 事業の財源となる基金の残高が少なくなってきた事から、継続する事が厳しい状況だ。

**問** 年間どれだけの予算削減になるのか。

**答** 値上げにより、基金の持ち出しを500万円から、225万円に削減できる事から、3年程度は現状で対応できるものと考えている。

**問** 配食サービスを給食センターで作ればどうか。

**答** 個別に配食を盛り付ける施設がない事と、配達方法の課題もある。高齢者に合った食事の調達という点からも難しい。

**問** 値上げして、配食サービスをやめた人はいるか。

**答** 19人がやめた。配食サービスの登録は何人か。

**問** 109人の登録で、1日あたり40人程度の利用になる。

**問** 600円の原価で業者に作らせて、500円の自己負担という事だが、どの町内業者か。

**答** ときがわ町にある、麻見江ホスピタル関連のセントラルキッチンで、株式会社マリエ。



配食サービスによる弁当の一例

石井 徹議員



町PR事業

健康づくりPR動画が大好評

町民参加で第2弾を作成予定

**健康づくりPR動画**  
**問** 好評を得ている、この動画の作成経緯は。  
**答** 鳩山健康マイレージ事業の参加者（健寿ウオーカー）の中から、ウオーキング部の結成記念企画として作成。  
**問** どんな内容か。  
**答** 昨年大ヒットした、カモンベイビーUSAの替え歌に合わせ、ウオーキング部、鳩中吹奏楽部、町職員ほか、町内の多くの方が参加。職員が手作りし、制作費はゼロ。  
**問** 今後については。  
**答** 第2弾を企画している。また、鳩山町全体のPR動画も検討していく。  
**企業誘致について**  
**問** 埼玉県の鶴ヶ島ジャンクション周辺地域基本計画の立地候補地とされているが、現在の動向は。  
**答** 企業立地に関する相談はあるが、具体的な進展はない。  
**問** 坂戸西インターチェンジ周辺の大規模開発についての状況は。  
**答** 大和ハウス工業（株）の物流センターで、来年



保健センターが制作「カモンベイビー鳩山」

2月に開業予定。従業員を1000名規模で採用予定。  
**問** 非常に厳しい財政状況の中、町でも財政健全化に向けた様々な取り組みを進めているが、縮減削減だけでなく積極的な取り組みとして、企業誘致を進めるべきだが、現在の取り組みは。  
**答** 産業誘導エリアの指定をしている。  
**問** このエリアの文化財の有無、また航空写真や企業立地から稼働開始までの諸条件等の詳細な情報があれば、企業も検討しやすいが。  
**答** まず文化財の試掘調査を早急に進める。

公共交通

デマンドタクシーを近隣地域へ

予算集約や料金見直しが必要

野田小百合議員



**問** 住民の要望をどのように受けとめているか。  
**答** できる限り要望に添いたい。が、手続き・コスト面で制約がある。  
**問** 経費はどのくらいかかるのか。  
**答** 現在デマンドタクシー1台あたり580万円。仮定だが、税金を投入しなければ片道800円かかる。どこまで行政が負担し、運賃設定をどうするか検討が必要。  
**問** 住民の声をどう把握しているのか。  
**答** 地域公共交通会議に住民利用者が参加している。ブックシヨップ、パブリックコメント、出前講座、デマンド予約センター経由で寄せられる皆さんの声を聞いている。町内循環バスを廃止してデマンドタクシーに予算を集約したり、料金を大きく見直すなどの対応が必要になる。  
**問** 多様な性を認める社会を申請書等の性別記入欄の見直しは。  
**答** 平成27年に調査し、見直した。11パーセント



手渡される「性的少数者に関する取組み推進の要望書」

減らし、240件にした。今後も見直ししていく。  
**問** 学校現場での取り組み状況は。  
**答** 性的マイノリティの児童・生徒が、一定の割合でいるという認識で、教育活動が展開されている。県主催の人権感覚育成プログラム研修に参加し、授業を展開している。  
**問** 関連する本など図書館にあるのか。  
**答** 27冊ある。  
**問** パートナーシップ制度についてどう考えるか。  
**答** 「性的少数者」への正しい理解と知識を普及させるため、調査・研究していきたい。

関根 清隆 議員



財政問題

財政の現状と将来に問題はないか

公債発行で、財政の硬直化が懸念

**町財政の現状と将来に問題はないか**

**問** 公債費負担比率、経常収支比率など、財政評価指数はいかがか。

**答** 平成29年の公債費負担比率は約15パーセントで増加傾向にある。経常収支比率は約94パーセントで財政の硬直化が懸念される。公債費が増加すれば償還金額も増加し、この傾向が進むと、自由に使えるお金が逼迫し、町政運営に大きな影響を与える。

**問** 公債費を減らす対策と債務を減らす対策は。

**答** 対策は①中長期の収入・支出を見直し、②徹底した歳出削減を行い、③町債発行(新たな借金)を必要最低限に抑える。そのため、現在「財政健全化集中改革基本指針」を作成し、行財政改革に取り組んでいる。

**北部地域活性化事業の見直しを求める**

**問** 当事業は計画の見直し時期に来ている。財政が厳しい中では、①町営路線バス、②泉井体験工リア整備事業の縮小、③

泉井地区集落センター建て替え事業の必要性、④上熊井生活道路の整備事業等、縮小・中止が必要ではないか。

**答** 北部地域活性化は町の長年の懸案であり、平成25年に「北部地域活性化基本条例」が制定され、これに基づき計画を進めている。現在第二期の計画見直しをおこなっており、総事業費の修正の必要はあるが、事業の縮小・あるいは断念を前提で検討はしていない。

**「総合相談支援窓口」の愛称付け、全サービスの第一窓口とする提案**

**問** 窓口の電話番号をマグネットラバーで作って全戸に配布し、周知してほしい。その費用は。

**答** 費用は28万円程。開設時間の制限から、周知は難しい。



大賀 広史 議員



町道1号線整備事業

交付金は2.5億円の見込みでは

実際は5000万円ほど

**通学路の安全対策**

**問** 危険ブロック塀の調査は実施したのか。

**答** 通学路点検で報告はないが、児童の安全の為、早急の実施する。

**問** スクールガードリーダーを養成して、主要交差点や危険箇所で見守り指導を提案する。

**答** 学校の意見を聞きながら検討する。

**熱中症対策**

**問** 熊谷市では暑いまちを快適にと、対策に力を入れていく。本町でも予防や啓発を。

**答** 町内10箇所に「まちのクールオアシス」を設置した。外出の際、一時休憩所として活用していただきたい。

**問** 小中学校に熱中症指数計の設置を再度、提案する。

**答** 安価なものもあるようなので、学校とも相談して備えたい。

**はーとんスクエア**

**問** 福祉健康・多世代交流工リアの愛称が決まった。納涼夏まつりの一本化開催はどうか。

**答** 来年度の夏まつりについて今後協議する。

**北部地域活性化事業**

**問** 今年度予定している建築工事は。

**答** 上熊井農産物直売所と、集落センターを2地区に建設を進める。

**問** 計画予算を大幅に上回っている。町道1号線整備事業は、今後交付金がい切見込めないため、起債が膨れ上がったという。町長に聞く。事業の緊急性が低い工事は凍結・先送りを検討すべきでないか。

**答** 地元の皆さまと町の約束であり、実現に向けて努力するが、財政難の状況も念頭に慎重に対応していく。



この質問のあと、高齢者による事故が発生(今宿交差点付近)

北部地域活性化事業

当初計画額と今の見込額は

7億4千万円超過して約33億円

森 利夫 議員



**問** 泉井集落センターの整備事業費が、1億6000万円から8000万円も増え、2億4000万円になった理由は。

**答** 地域要望を施設設計に反映したこと、駐車場の拡張や、資材・人件費の高騰が原因と考える。

**問** 泉井交流体験エリア事業費は8億5000万円、国庫補助金は1億3500万円。少なすぎると思うが算出根拠は。

**答** 実施設計と建築に係る部分のみが、補助金対象であり、基本設計、用地取得、造成工事等は対象外となる。

**問** 交付金の補助率は。

**答** 対象事業費の2分の1である。

**問** 上熊井農産物直売施設建設事業費は、当初計画額の4億円から1億6000万円増えて、5億6000万円になった。増加要因は。

**答** 建設資材や人件費の高騰に加え、特に外構工事費が増額になったため。

**問** 計画と実施時期がずれるのは当たり前か。

北部地域活性化事業の1つである町道1号線延伸工事



工期や値上がりを考慮して計画を立てないのか。

**答** 平成26年から27年に職員の概算で事業費を見込んだ。差が出てしまったが申し訳ない。

**問** 超過分事業費7億4000万円の財源は。

**答** 町の単独借入金と一般財源で対応する。

**問** 当初計画額26億円が見込み額33億円に膨らんだ。事業採択された計画に基づいて、工事を施工するべきと思うが。

**答** 事業計画に基づいて執行するのが当然であるが、資材や人件費の高騰、地元要望もある。今後、最大限注意し進める。

公園管理

おしゃもじ山公園の植栽管理は

シルバー人材センターに委託

小鷹 房義 議員



**問** おしゃもじ山公園のつつじの管理はどのようにか。

**答** 公園内を散策される方の支障をきたさないよう、剪定や、枯損木の除去など定期的に維持管理につとめている。今年度については、ツルの除草、追肥などを実施予定。

**問** 年間の管理業務委託料はどのくらい必要か。

**答** 直近3か年で平均90万円ぐらい。

**問** 経費節減で、つつじを守るためにも基金を設立したらどうか。

**答** 町では平成24年からまちづくり応援基金条例を制定している。対象事業の中に交流イベント事業がある。また、つつじの植栽管理に特化した新たな基金を創設した制度などについて研究していく。

**問** ニュータウン内には歩道の中央に大木が植えられていて、歩行者に危険ではないか。

**答** 道路維持管理業務の中で緊急性、危険度などの優先順位により、可能な限り安全性の確保に努

ニュータウン内の歩道の中央に植えられている大木



めていく。

**問** 現在、役場内のAEDの設置台数は。

**答** 1階の町民健康課窓口カウンター脇に1台ある。また、総務課には貸出し用が1台あり、屋外イベント等の際に貸し出しすることができる。職員もAEDや心肺蘇生法等の普通救命講習を受講している。

**問** 小中学校の熱中症対策は。

**答** 今年度も昨年度と同様に、熱中症の特徴や、対策、予防法を各学校へ周知し運動や部活動の際には十分注意して対応するよう進めていく。

小川 唯一 議員



## ゴミの戸別訪問収集の考え方は

### 高齢者福祉担当と連携して検討

**問** 遊休農地の活用方法は、適切に管理し、生産性を有する農地に再生することが望ましいが、荒廃を防止するため集積による活用、新規就農者への耕作農地の確保を考えている。

**答** 適切に管理し、生産性を有する農地に再生することが望ましいが、荒廃を防止するため集積による活用、新規就農者への耕作農地の確保を考えている。

**問** 貸し出し農業体験をしてもらうという考えがあるが。

**答** 北部地域の農業振興と合わせて検討する。

**問** 農地法上の問題はありますか。

**答** これまでは農地の活用に関する厳しい規制があったが、最近はある程度、具体化しやすい環境が整備されてきた。

**問** 米の生産量と作付面積の目標数値はどのように決まるのか。

**答** 県全体の生産目標を決定し、各市町村の水田面積、基準単収をもとに決める。

**問** 数値に対してのペナルティーはあるか。

**答** 未達成のペナルティーは無い。

**問** ゴミ出しの助けを必

ずにする人数は、

要とする人数は、



本町の作付面積換算は112ヘクタール

**答** 数字上の把握はできていない。

**問** 近い日に大きな問題となる。先送りしてはならない。どのように考えているか。

**答** 集積所まで搬出することが困難な方には、利用しにくいと認識している。福祉担当と適切に連携し、協議を行いながら対応したい。

**問** 戸別訪問収集を多くの自治体で実施しているが。

**答** 今後、検討する。

※10アール当たりの基準取引量

要とする人数は、

数字上の把握はできていない。

近い日に大きな問題となる。先送りしてはならない。どのように考えているか。

集積所まで搬出することが困難な方には、利用しにくいと認識している。福祉担当と適切に連携し、協議を行いながら対応したい。

戸別訪問収集を多くの自治体で実施しているが。

今後、検討する。

※10アール当たりの基準取引量

要とする人数は、

数字上の把握はできていない。

近い日に大きな問題となる。先送りしてはならない。どのように考えているか。

集積所まで搬出することが困難な方には、利用しにくいと認識している。福祉担当と適切に連携し、協議を行いながら対応したい。

## 町の財政

### 町の経営計画書が必要では

### 現在の財政状況には必要

石井 計次 議員



**問** 町の公債費比率は、29年度決算で県内町村平均の7パーセントを0.8パーセント上回っている。要因は、町収入が少なくて債額が多く、バランスに欠けた数値と捉えるが。

**答** 指摘のとおり収入の減少と町債発行による公債費が増えていること。また、交付税措置が無い町単独事業債の借り入れが、多いことが影響している。

**問** 直近の実質公債費比率は7.8パーセントだが、国・県の許可の18パーセントには若干の幅があるが、この差がどのようなスピードで縮まっていくか危惧しているが。

**答** 当町の町債の発行状況、今後の公債費を見込むと、あと2〜3年で10パーセントを超える。この状況を改善するため、更なる行財政改革を進める必要がある。

**問** 道のり険しい中、住民福祉を維持しつつ、歳出削減に取り組む。そのためには、町の事務事業を洗い直し、無理無駄が

あるかないか精査すべきではないか。

**答** 事業の総点検をする必要があると認識している。

指摘された行財政計画の実施計画の作成に取り組みたい。

**問** 中期（5年間）財政見通しの「見える化」の策定書が必要と考える。町債の残高、それに付する利息を加算した償還額の財政について情報共有が必要と考えるが。

**答** 議員からの質問を受け、遅くとも10月頃までには作成したい。



財政健全化に向けた資料（表紙）

中山 明美 議員



デマンド交通

寄せられる要望は切実

実現可能性の有無を検討したい

**問** 免許返納後の交通手段をどう考えているか。

**答** 循環バスやデマンドタクシーは安い料金で、環境が比較的整っていると考えている。

**問** デマンド交通に寄せられる要望は。

**答** 主に3件、予約受付業務の改善。土日の運行。町外への運行。

土日運行をするには、土日の予約業務・運行等にもなうコスト増が課題である。鳩山町全域を運行地域にできたのは、町にタクシー会社の事務所がなかったという、極めて特殊なケースである。仮に坂戸市につさい地区まで運行する場合、坂戸で営業するタクシー会社を鳩山町地域公共交通会議の委員に加え、につさい地区をデマンドタクシーの運行区域にする合意が必要である。

町外へ移動すると往復に時間がかかり、車両が不足することになる。1台追加あたり年間経費6000万を要すると考えている。この町外への運行に関する

混み合うと予想される日は2人体制で 鳩山町商工会



る要望については、鳩山町地域公共交通再編実施計画において、検討事項として位置づけている。

**問** ドア・ツー・ドアで町内ならどこへでも行けるデマンド交通は、便利なものだが、高齢化が進み単身者も増えて、さらなる充実が必要になってきた。利用しやすいものとするために、切実な要望であるが。

**答** 課題を一つ一つクリアしていかないと実現は難しい。要望を実現するための手法等、今後、実現可能性の有無について検討させていただきたい。

農業振興

鳥獣対策をどう考えているか

効果的な被害軽減は難しい

根岸富一郎 議員



**認知症と難聴対策を**

**問** 加齢性難聴と認知症との関係をどのように認識しているか。

**答** 聴力低下は、潜在的に修正可能な9つの危険因子の一つで、難聴は最も危険な因子だ。加齢の難聴は、誰にでも起こりうる問題だ。環境を整えることも大切と考える。今後、適切な対応につなげたい。

**問** 医療保険で対応できるようににならないか。

**答** 中央社会保険医療協議会等で、議論がされるものと推察している。

**農業の現状と振興をどう考えているか**

**問** 鳥獣対策は。

**答** イノシシ、アライグマ、シカによる被害の報告を受けている。効果的な被害軽減は難しい。

**問** 新しい食、ジビエの広域化を投資してでも、考えたらどうか。

**答** 原料の調達と消費量、財源措置が問題となる。

**問** 農地の山林化対策は。

**答** 毎年農地の利用状況調査を行っている。

水田の苗などを食べに来るイノシシの侵入を防ぐ網



所有者には、農地利用意向を確認し、計画書の提出もしている。

**問** 農業基盤整備に、業者の同意がいらなくなったのか。

**答** 農地中間管理権の設定時に、農地所有者の同意が必要だ。

**問** 地域では、林道などの管理ができなくなっているが、町はどうするか。

**答** 新たに検討したい。

**問** 農水省は、家族農業を続けたいと考えているが、町はどうか。

**答** 小規模農家の継続が基本だと思つ。